



Nishikigawa seiryu line



2022

令和 4 年度版



錦川鉄道株式会社

ごあいさつ

錦川清流線をご利用の皆様、ファンの方々、および様々な分野から当社を支援していただいている皆様方のおかげをもちまして、今年、開業35周年を迎えることができました。ありがとうございます。

昨年度は、平成31年度から続いている新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続いたしましたが、お客様に安心してご利用いただけるよう車両・駅舎の抗菌コーティング実施や設備の定期的な消毒を実施してまいりました。また、四季折々の写真を当社SNSにアップしたり、鉄道ブームの一翼を担っている鉄印等グッズの販売に力をいれるなど観光需要を喚起するよう心掛けてまいりました。

今後、当社が目指すべき姿を「憧れを、身近に」として、観光イベントの実施による観光客誘致や、お客様満足の向上等に努め、一度は行ってみたい「憧れ」の路線となることを目指してまいります。また、お客様が、当社を「身近に」感じていただけるよう、様々なサービスの提供や、情報発信に私が率先垂範して取り組んでまいりますので、今後とも変らぬご支援をよろしくお願いいたします。

令和4年4月1日

代表取締役社長 廣田 幹

安全統括管理者挨拶

昨年6月に専務取締役に選任されて一年が経過しました。この間、大きな事故、災害はなく、おかげさまで、錦川鉄道として安全な輸送を提供することができました。しかしながら、設備の老朽化は静かに進んでいます。レール折損や、ケーブル損傷などによる輸送障害が発生し、当社の設備が経年により老朽化したものが多く、安全輸送のためには、定期的な点検と補修が必要であることも事実であり、計画的な設備更新が必要です。

さて、平成31年度から猛威を振るってきた新型コロナウイルスもある程度の落ち着きを見せたのか、まん延防止等重点措置などが解除されたのちは観光需要も伸びてきていることが感じられるところです。清流錦川に沿って鉄道を運行する当社としては、季節ごとの観光資源を安全にお客様に提供できるように努めてまいりたいと思っておりますので、今後も清流線へのご支援をよろしくお願いします。

令和4年4月1日

専務取締役 松本 康夫

1 会社の概要

(1) 所在地

山口県岩国市錦町広瀬 7873-9

(2) 会社設立

昭和 62 年 4 月 1 日

昭和 62 年 7 月 25 日から

旅客運送業務の営業開始

(3) 資本金

2,400 株	100,000 千円
---------	------------

山口県	400 株 (16.7%)
-----	----------------

岩国市	1,100 株 (45.8%)
-----	------------------

《自治体》	1,500 株 (62.5%)
-------	------------------

広成建設	180 株 (7.5%)
------	---------------

山口銀行	120 株 (5.0%)
------	---------------

中国電力	120 株 (5.0%)
------	---------------

錦川清流線を育てる会

150 株 (6.3%)

西京銀行	60 株 (2.5%)
------	--------------

その他	270 株 (14 団体等)
-----	-----------------

《民間》	900 株 (37.5%)
------	----------------



(4) 事業内容

① 鉄道事業

② 市施設指定管理者（平成 25 年 4 月岩国城索道・岩国城利用料金制）

③ バス運行（平成 10 年度 4 月錦町営バス（現市生活交通バス）の受託開始）

④ 遊覧車部門（平成 14 年度 7 月錦町より受託開始、現在直営）

⑤ 売店業

⑥ 旅行業（平成 3 年 2 月錦川鉄道清流線トラベルサービス開業）

⑦ 錦帯橋受託事業（平成 25 年 4 月受託開始）



(5) 錦川清流線の沿革



錦川清流線の今昔

■ むかし（国鉄）

昔、錦川清流線は岩日線と呼ばれていました。岩日線は山陽本線岩国駅と山口線日原駅を結ぶ予定で、陰陽連絡鉄道の1つとして建設が開始されました。しかし、大半の工事が完成したところで昭和55年の国鉄再建法によって工事が中断され、一度も列車がはしることのなかった路盤が今も残っています。

■ いま（第三セクター錦川鉄道）

岩日線は赤字のため、第三セクターの錦川鉄道に移管されました。線名は、開業にあたり、「錦川清流線」と名付けられました。その名の通り、名勝「錦帯橋」のある清流錦川に沿って、終点錦町までの急峻な山肌を縫うように線路が敷かれ、車窓から美しい四季折々の景観が鮮やかに写し出され、岩国～錦町までの1時間ちょっとの小さな旅を楽しむことができます。錦川清流線沿線には、自然に恵まれた見どころが沢山あります。



(6) 当社ホームページ・SNS のご紹介

①ホームページ



②SNS

(Facebook)



(Instagram)



(Twitter)



(YouTube)



大正 11 年		改正鉄道敷設法公布 「山口県岩国より島根県日原に至る鉄道」が指定
昭和 25 年		岩日線鉄道敷設期成同盟会結成
昭和 29 年		岩国～広瀬間工事着工
昭和 35 年	11 月	国鉄岩日線(川西～河山間)開業
昭和 38 年	10 月	国鉄岩日線(川西～錦町間)開業
昭和 40 年		岩日北線(錦町～六日市間)工事着工
昭和 46 年		河山鉱業所閉鎖により貨物営業廃止
昭和 55 年		国鉄再建法により岩日北線工事中断
昭和 59 年	6 月	国鉄岩日線が第 2 次特定地方交通線に指定
昭和 61 年	11 月	国鉄岩日線第 3 セクター鉄道化決定
昭和 62 年	4 月	錦川鉄道株式会社設立 国鉄分割民営化、岩日線は西日本旅客鉄道株式会社に引継ぐ
	7 月	錦川清流線開業(岩日線を引継ぐ)
平成元年	1 月	消費税導入されるも運賃値上げは行われず
	8 月	イベント対応車両 1 両増備、車両計 6 両となる
平成 3 年	3 月	北河内～錦町間特殊自動閉塞方式使用開始
	4 月	旅行業部門「清流線トラベルサービス」営業開始
平成 5 年	3 月	守内かさ神駅開業
平成 7 年	12 月	清流線ギフトカード発売開始
平成 9 年	4 月	消費税率改定により開業以来初の運賃値上げ(消費税分転嫁)
	5 月	錦町レンタサイクル営業開始
	7 月	開業 10 周年記念行事
平成 10 年	4 月	錦町営バス運行請負業開始
平成 11 年	10 月	動物キャラクター列車運転開始(車両塗装変更)
平成 12 年	2 月	清流カラー最終列車運転(3 月で全車塗装変更完了)
平成 13 年	3 月	岩日北線用地地元錦町に無償譲渡
	7 月	開業 14 周年、全駅硬券入場券セット発売
	11 月	ホームページ開設
平成 14 年	4 月	カヌー列車試行
	7 月	とことこトレイン運行請負開始
平成 15 年	3 月	きらら夢トンネルの壁画製作(320m)、ブラックライト照明開始
	10 月	錦川清流線沿線景観づくり事業(L=2,300m、～3/24)
平成 16 年	3 月	きらら夢トンネルの壁画延長(310m/総延長 630m)
	8 月	「清流線まつり」開催
	10 月	「日本鉄道賞」の鉄道大賞を受賞
平成 17 年	2 月	旅客運賃上限変更認可の申請(値上げ率 33%)
	3 月	旅客運賃上限変更認可の認可
		旅客運賃設定の届出(値上げ率 114.6%)

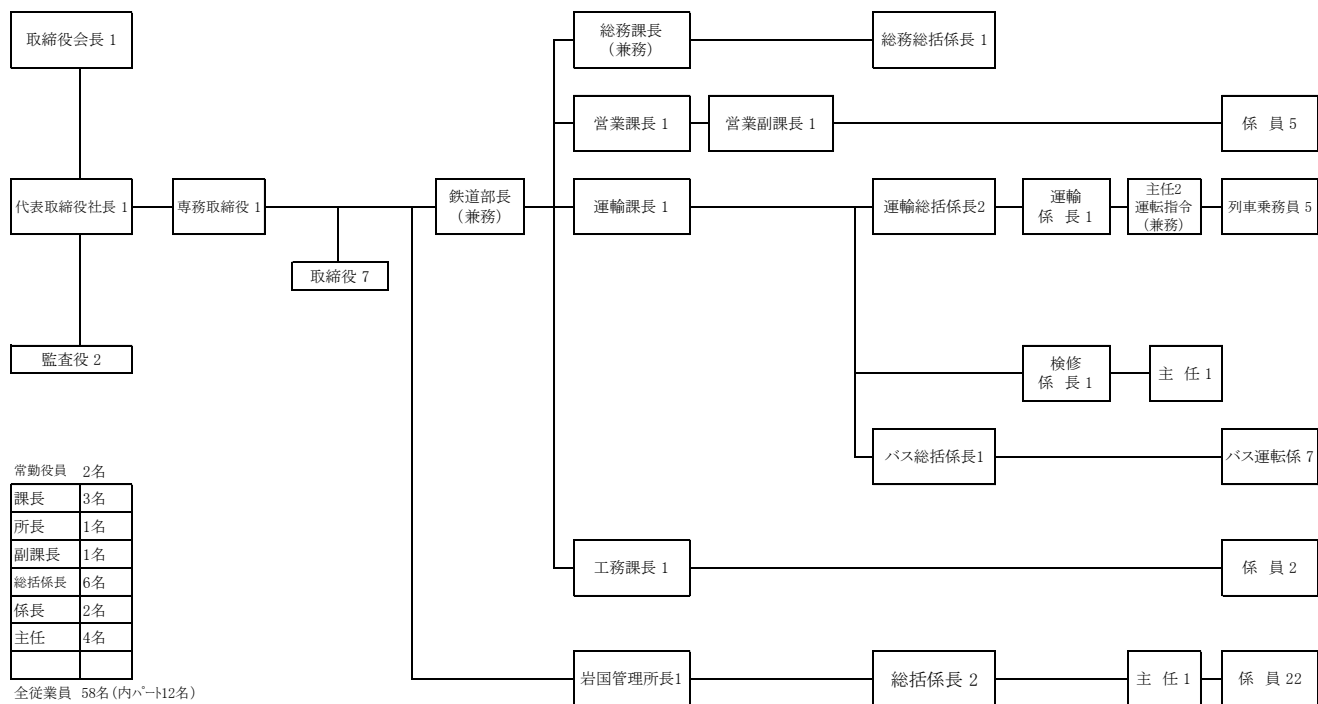
	4 月	運賃改定(値上げ率 114.6%)
	10 月	とことこトレイン 10 万人目達成
	11 月	鉄道再生計画申請と国土交通省中国運輸局長の承認
平成 18 年	3 月	沿線市町村合併後に鉄道再生支援協議会を新たに設置
	10 月	鉄道再生支援協議会車両専門部会で車両デザインを決定
		JR山陽本線岩国駅東口の駅業務を受託
平成 19 年	3 月	新型車両「せせらぎ号」の展示会及び出発式
		開業以来初の新制服に一新
	8 月	錦川鉄道開業 20 周年記念式典行事
平成 20 年	2 月	新型車両「ひだまり号」「こもれび号」出発式と5円(ご縁)記念運賃
	12 月	新型車両「きらめき号」と新車 4 両連結・お披露目記念 100 円デー 「せいりゅう号」のさよなら運転
平成 21 年	3 月	開業 21 年で 1,000 万人の旅客輸送を達成
	7 月	ありがとう 1,000 万人の観光アテンダント公募、乗務、ヘッドマーク、ワッペン着用開始(平成 21 年 12 月 31 日まで)
	9 月	新車両「とことこトレイン」の導入、デザイン公募、車庫の新設、 出発式の開催(更新車両は愛地球博で運行したグローバル tram)
	12 月	南河内、北河内、河山の各駅にパークアンドライド駐車場が完成
平成 22 年	3 月	ダイヤ改正で 3 駅区間の観光徐行を開始
	10 月	岩国～河山間開通 50 周年記念、ファッションショーの開催、ミニ SL 運転、新型車両 4 両連結運転等の記念事業
	12 月	北河内～棕野間に「清流の滝」を新規発掘と名前の当選者を発表
平成 23 年	4 月	錦川鉄道ホームページのリニューアル、列車・バス時刻表、沿線観光案内、予約システム導入等整備拡充
	7 月	とことこトレインと錦川清流線列車による山口国体炬火リレー
	10 月	錦川鉄道パトロールカー四輪駆動車(清流線 4 両増結、とことこトレインの写真をラッピング)を JA 共済連から寄贈
平成 24 年	3 月	・新滝(棕野～南桑間)「かじかの滝」に決定し看板設置、観光徐行運転と観光徐行箇所を 6 ヶ所に拡大 ・景観事業完成式典の開催(幼稚園児、地元住民招待)、沿線木伐採、毛筆書の全駅名標新設、構内桜の木整備 ・ダイヤ改正時に昼間の時間帯 列車 2 本を削減。ダイヤを 10 本で運行開始
	8 月	開業 25 周年記念式典(感謝状贈呈式、清流線まつり)開催、夢トンネルで 5 年間タイムカプセル熟成酒(夢眠)の発売
	9 月	「とことこトレイン」乗客 30 万人達成(開業 10 年)記念式典の開催
平成 25 年	3 月	「御庄」駅を「清流新岩国」駅に改称
	4 月	・岩国城索道及び岩国城の指定管理開始と錦帯橋業務受託開始 ・岩国管理所を新規設立 ・制服を一新

		・鉄道お宝展「鉄道タブレット閉そく機 2 台を錦町駅に常設展示」
	10 月	錦町駅開業 50 周年記念事業の取り組み ・『錦川清流駅弁』発売開始 ・『50 周年記念ツアー』の開催 ・『50 周年記念入場券』発売
	11 月	・『紅葉列車』市内 5 酒蔵連携、利き酒列車新企画(臨時列車運行)
平成 26 年	1 月	錦川鉄道行動指針の制定
	3 月	・『お花見列車』市内 5 酒蔵連携、利き酒列車新企画(臨時列車運行)
	4 月	・運賃改定(消費税 8%に伴う値上分)
平成 27 年	6 月	代表取締役交代
	10 月	売店事業 岩国市 5 酒蔵仕入契約締結
	11 月	岩国市生活交通バス業務一部返還
平成 28 年	4 月	岩国城・岩国城索道の指定管理が利用料金制となる
平成 29 年	3 月	錦町駅舎等リニューアル及び鉄道資料館等新設 ・ とことこトレインそう津峡温泉駅トイレ新設
	4 月	とことこトレイン 40 万人達成
	5 月	国鉄レトロ車両『キハ 40』 JR 東日本から譲渡
	7 月	開業 30 周年記念『感謝の集い』開催
	9 月	5 年前に発売した酒タイムトラベル『夢眠』の開封イベント及び、感謝のタペ開催
	9 月	山口デスティネーションキャンペーンで、利き酒列車のイベントより、キハ 40 車両の運行開始
	11 月	・平成 30 年秋に開業する新駅の駅名が『清流みはらし駅』に決定 ・JR山陽本線岩国駅橋上化に伴う岩国駅東口の駅業務の廃止
平成 30 年	7 月	6日から7日にかけての集中豪雨により森ヶ原～清流新岩国間 2K680M 付近の山が崩壊し、線路に樹木土砂等が流入し、錦町～岩国間の直通運転は51日間不通となった。(18日～8月26日は錦町～北河内間を鉄道運転、北河内～岩国間は、いわくにバスによる定期バス代行実施。【1日4往復】 8月27日から全線運転再開。
	12 月	錦川鉄道ホームページのリニューアル。スマートフォンに対応、見やすさに重点をおき製作
平成 31 年 令和元年	3 月	錦川清流線に新駅「清流みはらし駅」開業(26年ぶり)
	10 月	・運賃改定(消費税 10%に伴う値上分)
令和 2 年	3 月 ～	・令和 2 年の年明けから、全世界的に「新型コロナウイルス」が発生、また蔓延した状態となり、密閉、密室、密接の観点及び不要不急の外出まで移動の抑制がかかることとなっており、3 月からは利き酒列車、運転体験、団体臨時列車、とことこトレインの運行延期、また学校の休校等、様々なイベントや行事等が中止となり、通勤、通学、観光旅行者等は激減
	6 月	代表取締役交代

	7月	第三セクター鉄道協議会の連携事業として「鉄印帳(てついんちょう)」の販売開始
	11月	岩国城にて「御城印(ごじょういん)」の販売開始
令和3年	6月	NT3000形車両4両、キハ40形車両1両と錦町駅待合室やトイレの抗ウイルス・抗菌施工の実施
		代表取締役交代
	8月	Instagram 等公式 SNS 開始
	10月	美川ムーバレーとの合同企画列車(冒険列車)の通年運行開始
令和4年	1月	無償減資実施(資本金:1億2,000万円 → 1億円)
	2月	「子ども鉄印コンテスト」実施



[6]組織図



2 輸送の状況

- (1) 線名 錦川清流線
- (2) 区間 川西駅(起点)～錦町駅(終点)間 32.7km
- (3) 駅数
- ① 13駅、錦町駅以外は全て無人12駅
行き違い可能な駅(島ホーム)は北河内1駅
- ② JR線は全列車が直通運転
川西駅～岩国駅(5.6km)は錦川鉄道列車をJR列車として、直通運転の契約を締結
運賃をJR運賃として精算し、錦川鉄道の運行に係る費用(車輛修繕費、動力費、減価償却費、公租公課、資本利子、管理費及び乗務員人件費)はJRから受領
- ③ JR線の乗り出しに伴い、信号機や駅の共同使用を精算
分岐点の森ヶ原信号所～川西間(1.9km)とJR川西駅は、駅共同使用契約を契約しており、
錦川鉄道はJRに使用料を納付

【路線図】



(4) 錦川清流線の車両

錦川鉄道には、NT3001(平成19年3月31日運行開始トイレ付)、NT3002、NT3003(平成20年2月23日運行開始トイレ付)、NT3004(平成20年12月23日運行開始トイレ付)のいずれもワンマン運転仕様車両(定員104人、座席数43人)の他、JR東日本より譲り受けた『国鉄レトロ車両』キハ40型1009(平成29年9月の山口DCより運行開始ロングシートイベントテーブル付トイレなし)が在籍しています。保有車両はNT3000型4両、キハ40型1両の合計5両です。

NT3001 せせらぎ号「清流のブルー」



NT3002 ひだまり号「桜のピンク」



NT3003 こもれび号「森林のグリーン」



NT3004 きらめき号「夏の光のイエロー」



キハ40-1009



昭和57年製
平成29年5月にJR東日本より譲渡

車内の様子



●キハ40車内風景

錦川鉄道主催イベントまたは、臨時貸切列車にてご乗車いただけます。(車内にトイレはございません)



(5) 列車本数

岩国駅～錦町駅の全区間を全列車が運転し、上り 10 本・下り 10 本

(6) トンネル・橋りょう数

① トンネル数 27 ケ所

総延長 6,188m (森ヶ原信号場～錦町駅間)

② 橋りょう数 352 ケ所

(7) J R との接続

① 清流新岩国駅は、新幹線との接続駅 (H28. 4. 1 接続状況)

J R 新岩国駅へは清流新岩国駅から連絡通路で 350m (徒歩 5 分)

上り 10 本／日 下り 10 本／日

② 川西駅は、J R 岩徳線との接続駅 (H26. 4. 1 の接続状況)

上り (J R 岩国駅行き全列車) は J R 岩国駅まで乗出

下り (J R 徳山駅行き) 10 本／日

③ 岩国駅は、J R 山陽本線との接続駅

上り 10 本／日 下り 10 本／日



とことこトレイン 岩日北線記念公園



- とことこトレインとは、錦町駅～雙津峡温泉駅まで約6km間を、鉄道が走る予定だった跡地を利用して走る観光用のトロッキ遊覧車です。光る蛍光石で装飾されたトンネル「きらら夢トンネル」内は、幻想的な世界が楽しめます



岩日北線記念公園はかつての国鉄が陰陽連絡鉄道として、岩国～島根県の日原まで列車を走らせる計画で工事が進められており、岩国～錦町までは完成し、当時の岩日線、現在の錦川鉄道錦川清流線として列車が走りましたが、島根県六日市までトンネル、橋等、16.6 kmの延長工事が完成したものの、昭和 55 年に工事が中止となり、現在に至っており、今後列車が走ることは永久にありません。『幻の鉄道』となった岩日北線が、みなさまに豊かな自然を見て頂くため、遊覧車通路を含めた自然公園として完成いたしました。

3 経営の状況

(1) 輸送実績

開業当初には年間約 58 万人であった錦川清流線の輸送人員は、平成 15 年度は 42 万人に、令和 3 年度には 13 万人に減少し、開業時と比べ 22%と大きく落ち込みました。沿線は少子化、高齢化、過疎化が顕在化し、減少の要因となっています。

令和 3 年度は 13 万人と前年度より約 6.5 千人減少しました。令和 2 年から続いている新型コロナウイルス感染拡大が、沈静化を挟みながらも波のように繰り返された結果、行動自粛の動きが継続したことが要因です。

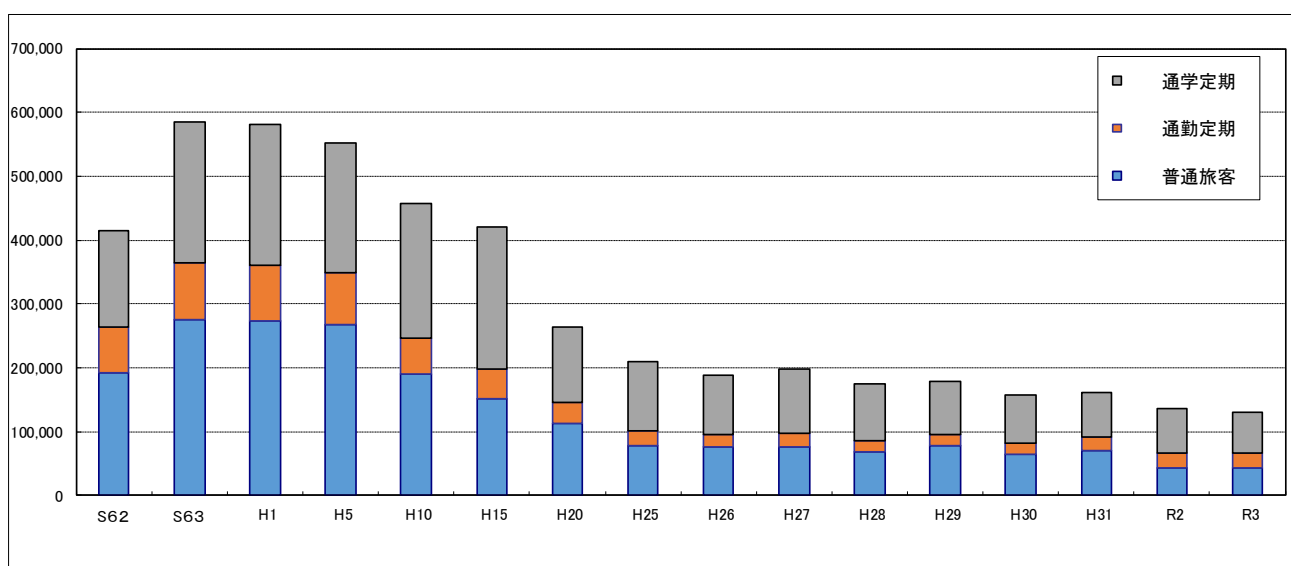
令和 4 年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然読みにくいものではありますが、観光イベント等実施による観光客誘致やCSの向上に努めるとともに、様々なサービス提供や情報発信に努めることで、売上の向上を図ってまいります。

○ 輸送人員の推移

(人)

	S63年度	H5年度	H10年度	H15年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
輸送人員	584,170	551,224	456,982	420,684	178,883	156,574	162,039	136,574	130,066
	100.0%	94.4%	78.2%	72.0%	30.6%	26.8%	27.7%	23.4%	22.3%
普通旅客	275,354	266,810	191,162	152,238	77,379	64,586	70,379	42,496	43,608
	100.0%	96.9%	69.4%	55.3%	28.1%	23.5%	25.6%	15.4%	15.8%
定期	308,816	284,414	265,820	268,446	101,504	91,988	91,660	94,078	86,458
	100.0%	92.1%	86.1%	86.9%	32.9%	29.8%	29.7%	30.5%	28.0%
(通勤定期)	88,508	82,502	55,292	46,546	18,740	16,898	20,372	23,604	23,536
	100.0%	93.2%	62.5%	52.6%	21.2%	19.1%	23.0%	26.7%	26.6%
(通学定期)	220,308	201,912	210,528	221,900	82,764	75,090	71,288	70,474	62,922
	100.0%	91.6%	95.6%	100.7%	37.6%	34.1%	32.4%	32.0%	28.6%

輸送量の推移グラフ



(2) 鉄道事業収入

令和 3 年度の鉄道収入は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により年間を通じて観光自粛の動きからイベント等を一部中止せざるを得ず、定期外収入が伸び悩み、前年度を下回りました。そのような状況下、個人や家族向けの集客を図るため、ホームページや SNS による情報発信を積極的に行ったことや、現在鉄道ブームの一因となっている「鉄印帳」の追加を行った結果、減収を一部カバーすることができました。

鉄道設備は、岩日線の開業から 58 年を超え、今後も安全確保にかかる保守経費は、関係各社と連携を図り補助金を活用しながら、中長期的、計画的に継続して実施していきます。

(3) 関連事業収入

令和 3 年度の関連事業は、バス事業（岩国市生活交通バス受託）、遊覧車運行事業、売店事業、旅行業、指定管理受託事業、錦帯橋受託事業であり、令和 3 年度の収入は引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度を上回ったものの、コロナ禍前の前々年度を下回りました。

- バス事業は、鉄道フィーダーとして重要な役割があり、岩国市より運行委託されており、前年度比ほぼ変わらずとなりました。
- 遊覧車運行事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、とことこトレインの乗客が伸び悩み、昨年よりは増加したものの例年程度には回復しませんでした。また車両導入から 13 年経過し 3 カ年計画で大規模修繕計画を実施していることから、収益はマイナスとなりました。遊覧車乗客のおよそ 52%は鉄道を利用されており、鉄道輸送量アップに貢献してきたところです。
- 売店事業は、品揃えを充実させた結果、前年比プラスとなりました。
- 指定管理受託事業（岩国城、岩国城ロープウェー）は、平成 28 年度から指定管理利用料金制となっておりますが、引き続きの新型コロナウイルス感染拡大の影響により観月運転を中止せざるを得ないなど、年間を通じて観光自粛ムードが継続した結果、前年比ではプラスとなりましたが、令和 2 年度の約 60%に留まりました。
- 錦帯橋受託事業は、岩国市より錦帯橋の料金収受や管理を委託されており、前年比ほぼ変わらずとなりました。

令和3年度事業収入状況

部門別		金額（千円）	構成比（％）	内比率（％）
鉄道事業		72,327	35.7%	100.0%
鉄道事業	旅客運輸収入	37,573	—	51.9%
	運輸雑収入	34,754	—	48.1%
関連事業		130,118	64.3%	100.0%
関連事業	バス事業	31,120	—	23.9%
	遊覧車運行事業	4,482	—	3.5%
	売店事業	2,869	—	2.2%
	旅行業	865	—	0.7%
	指定管理受託事業	66,402	—	51.0%
	錦帯橋受託事業	24,380	—	18.7%
合計		202,445	100%	

平成29年3月に錦町駅舎リニューアル



4 イベント状況

錦川鉄道では、お客様が喜んで、繰り返し参加していただける様な企画イベントを計画しています。

◆ 錦川鉄道健康ウォーク（春の岩日北線コース 4月）

【企画の概要】

岩国から錦町まで錦川清流線に乗車し、桜が見頃のとことこトレインの沿線をガイドと一緒にウォーキング（約7km）

そうづ峡温泉で昼食と入浴のセットプラン



◆ 錦川鉄道健康ウォーク（秋の岩日北線コース 11月）

【企画の概要】

岩国から錦町まで錦川清流線に乗車し、秋の紅葉が見所のとことこトレインの沿線をガイドと一緒にウォーキング（約7km）

そうづ峡温泉で昼食と入浴のセットプラン



◆ こども鉄道員（５月）

【企画の概要】

子供達に鉄道について学んでもらい、臨時列車を運行する中、実際に車掌の体験や列車の点検・目隠しをしての障害者疑似体験を実施



◆ ホタル列車（６月）

【企画の概要】

府谷ホタル祭り参加のため、岩国から乗車し、ホタル祭りに参加
神楽舞いの見学や、ジャガイモ堀り体験等を企画



◆ ホタル観賞宿泊きっぷ（６月）

【企画の概要】

錦川清流線の夕方の列車に乗車し、温泉施設での宿泊をセットにした切符（夜にはホタルを見に行くことができます）

◆ 夕涼み列車（７月～８月）

【企画の概要】

岩国から夕方の列車に乗車し、車内での夕食弁当をセットにした企画
オプションとしてきら夢トンネルの散策

◆ お月見列車（9月）

【企画の概要】

岩国から夕方の列車に乗車し、車内での夕食弁当をセットにした企画

夕涼み列車の秋バージョン

オプションとしてきらら夢トンネルの散策

◆ 清流みはらし列車（毎月）

【企画の概要】

岩国駅から臨時列車に乗車し、定期列車では停まることのない秘境駅『絶景特別席 清流みはらし駅』に停車

眼下の錦川や『清流みはらしの滝』の景観に岩国市内老舗弁当をセットにした企画



◆ 運転体験（偶数月の第4土曜日実施）

【企画に概要】

運転取り扱い・車両の構造などを学習した後、錦町駅構内において交代で実車運転を体験（オプションのキハ40を使った実地講習や運転体験については受付中止中）



◆ 美川ムーバレー冒険列車（通年）

【企画の概要】

錦川清流線と美川ムーバレー入国券をセットにしたお得なプラン

◆ 秋の味覚堪能列車（松茸の時期）

【企画の概要】

岩国から錦町までの乗車と、温泉施設での温泉入浴に加えてマツタケ料理のフルコースや秋の味覚を堪能できる企画

◆ 紅葉・利き酒列車(紅葉の時期)

【企画の概要】

紅葉の季節に、岩国市内5蔵のお酒とお弁当を、貸切列車内にて景色を楽しみながら満喫していただく企画

とことこトレイン特別割引あり

清流みはらし駅に停車



◆ 冬景色・湯けむりの旅（1月～2月まで）

【企画の概要】

冬のとことこトレイン運休時期に、きらら夢トンネル散策と、温泉で温かい鍋料理に入浴、お土産付きの企画

◆ 宮島初詣列車（1月）

【企画の概要】

錦川清流線を利用し、岩国駅で山陽本線へ乗り換え、宮島「厳島神社」へ参拝する企画（毎年沿線の方々がご参加）

◆ セツブンソウ公開（2月上旬～中旬）

【企画の概要】

セツブンソウ実行委員委の開催する公開日にあわせて、錦川清流線でお越しの方を自生地まで案内し、見学していただく企画



◆ 春休み子供ツアー（6年生宮島卒業旅行3月下旬）

【企画の概要】

沿線の小学生を対象に、清流線とJRを使って宮島の水族館に行く卒業旅行

◆ お花見・利き酒列車（3月下旬）

【企画の概要】

桜の季節に、岩国市内5蔵のお酒とお弁当を、貸切列車内にて景色を楽しみながら満喫していただく企画

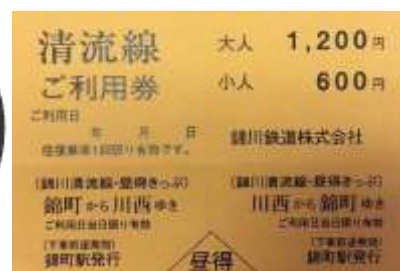
とことこトレイン特別割引あり

清流みはらし駅に停車



その他

- 1日フリーきっぷ、昼得きっぷ等
- 鉄印帳（第三セクター鉄道等協議会 40社共同企画）



5 沿線の状況

錦川清流線沿線の人口

(人)

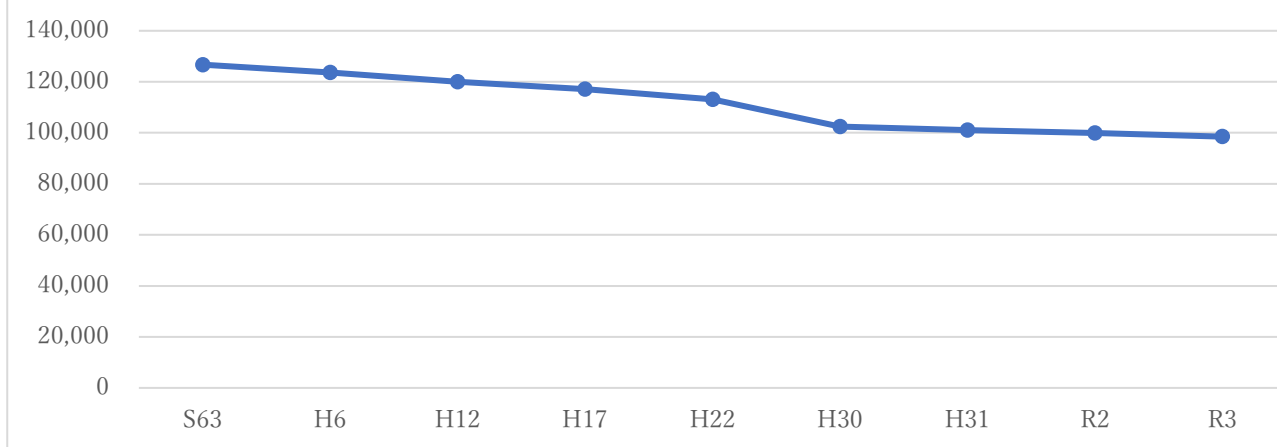
	S63	H6	H12	H17	H22	H30	H31	R2	R3
(旧)岩国市	111,567	109,669	107,369	105,124	102,526	94,191	93,068	92,232	91,096
錦町	5,270	4,728	4,145	3,906	3,390	2,539	2,423	2,352	2,266
美川町	2,564	2,191	1,799	1,744	1,430	992	949	905	877
美和町	5,653	5,557	5,259	5,075	4,646	3,878	3,790	3,672	3,563
本郷町(村)	1,664	1,543	1,414	1,310	1,173	807	778	748	700
(旧町村計)	15,151	14,019	12,617	12,035	10,639	8,216	7,940	7,677	7,406
合 計	126,718	123,688	119,986	117,159	113,165	102,407	101,008	99,909	98,502

(1) 沿線の人口

沿線人口は、少子高齢化、過疎化の影響により、平成 17 年度の沿線人口は、開業当初より 1 万人近く減少し 12 万人を下回りました。また、平成 27 年度から旧錦町でも 3 千人下回り、旧本郷村では千人を下回っています。その後、令和 2 年度には沿線の人口の合計が 10 万人を下回りました。

※実績は各年 12 月 1 日現在（岩国市ホームページより）（外国人登録は含まない）

錦川清流線沿線の人口の推移



（２）沿線の観光資源

錦川清流線沿線（一部、ＪＲ岩徳線を含む。）には多数の観光資源が存在し、これらの観光資源への流入人口による鉄道利用と地域の活性化が期待されます。

○錦町駅周辺

- ・岩日北線記念公園（とことこトレイン、きらら夢トンネル）、まちぐるみ博物館
- ※そうづ峡温泉、深谷峡温泉、らんかん高原、寂地峡へアクセス

○根笠駅周辺

- ・美川ムーバレー、岩屋観音、観音水車でかまろくん

○川西駅（ＪＲ）周辺

- ・宇野千代生家、横山地区（錦帯橋、岩国城、吉香公園など）へアクセス

○西岩国駅（ＪＲ）周辺

- ・横山地区（錦帯橋、岩国城、吉香公園など）へアクセス



さあ、でかけよう!
Let's Go!



